

# AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS



2014 No.72

AGUニューズ第72号 [2014年6月~7月号]

## 青山学院大学

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 URL. http://www.aoyama.ac.jp/ 特集

仙波学長・平澤副学長インタビュー

人と痛みを共有し、共に学び、 共に世界を切り拓く 「地球社会共生学部(届出書提出中)」を 2015年4月に開設します。

TOPICS 総合文化政策学部が意欲的に取り組む2つの連携事業 青山学院創立140周年記念行事―青山学院大学聖歌隊英国公演― 青山学院創立140周年記念 公開シンポジウム・公開講演会を開催 模擬労働裁判・労働審判実施報告

AGU Lecture ジェット推進研究室



# 人と痛みを共有し、共に学び、共に世界を切り拓く「地球社 会共生学部(届出書提出中)」を2015年4月に開設します。

「就学キャンパスの再配置」、「英語教育の強化」に引き続き、本学は次の改革に取り組んでいます。 グローバル化が進む21世紀の社会に必要な人材を育成するために、 2015年4月、新たに「地球社会共生学部」を相模原キャンパスに開設する予定です。 「青山学院大学らしいグローバル人材」とは何か。学長、副学長が新学部開設への思いを、語りました。



学長 仙波 憲一

#### 体験することで、共に生きる本質を知る

すでにグローバル化が進んでいる現代、 社会の要請に応えるためには、本学も学問 の領域を広げていく必要性があります。 2015年度以降の入学生が卒業し、社会に 出て働き始めるのは2020年代。20年、30年 と仕事をして迎える2050年には、世界の GDPの5割以上をアジア地域が占めるであ ろうと予測されています。人口が増加したア ジアの若者が十分な教育を受け、技術を習 得して社会に出れば、世界の中心で活躍す るでしょう。もはやアジアは生産コストの削 減を求める場ではなく、共に手を携えて世 界に貢献するパートナーであると認識する ことが重要です。

専門知識に磨きをかけて世界に羽ばたく 人材の育成は、従来の学部でも取り組んで きましたが、これからは、さらなるグローバ ルな舞台での活躍を前提とし、地球規模で 社会を捉えられる力を養うことが必要です。 そこで、2015年の開設に向けて現在準備を 進めているのが、「地球社会共生学部」です。 世界のさまざまな地域で起こっている差別 や貧困、紛争、情報格差などの課題に対し、 愛と共生と教育で挑戦する人材の養成を目 的とします。世界の人々と共通の目線で協働 できる知恵と力、「共生」マインドを備えた人 材を社会に送り出すことが、新しい学部の 使命です。

「思いは、現実になる」ということを実感で きる教育を実現するには、座学の理論だけ でなく、実際に見て感じる「体験」を通して現 実を学ぶことが重要です。

本学ではすでに多彩な留学システムを整 えていますが、地球社会共生学部は、グロー バル化を重視した教育への体験的アプロー チとして、従来の留学制度とは別に、タイや マレーシアなどアジアを中心とした半期留 学を必須とする、学部独自の制度を構築し ます。これは、留学中の生活自体がフィール ドワークともいえるもので、学生たちは生活 者の視点で異文化を体験します。現地では、 日本とは異なる文化ゆえに衝突や困難なこ とも経験するでしょうが、そうした体験をす ることで人としてたくましく成長してほしい

と考えています。もちろん留学中の安全面を 考慮し、現地では本学教員が常駐するほか、 青山学院校友会や現地協力企業によるサ ポート、学生同士の助け合いなど、何層もの セーフティネットを築きます。定期的なモ ニタリングやアドバイス、カウンセリングを 行うことで、安全かつ安心な体制を確立し

#### 国内で体験できる異文化交流

一方、国内ではキャンパス近隣に学生寮 を準備し、「異文化共生空間」を整えます。寮 生活を希望する日本人学生と海外からの留 学生が、同じ空間で生活する、まさに「毎日 が国際交流しとなるに違いありません。留学 生の入寮を積極的に勧めるとともに、留学 生と英語で話すチャットルーム、相互学習室 等の施設面での支援も充実させる予定で す。英語でコミュニケーションする留学生た ちとの交流で、日本人学生たちの英語力、コ ミュニケーション能力は確実にアップする ことでしょう。相模原キャンパスで学生生活 を送りながら、まるで留学しているかのよう な異文化交流生活を送ることができると考 えています。



副学長 平澤 典男

#### 青学らしいグローバル人材の育成

産業界や政府でさまざまに議論されてき たグローバル人材の定義は、次の3要素に 収束しつつあります。まずは、語学力に裏打 ちされたコミュニケーション力。次に、主体 性、積極性、協調性、リーダーシップといった コンピテンシー。そして、自己アイデンティ ティを持った異文化理解力です。「地球社会 共生学部 | では、4つ目として「社会科学の幅 広い素養の上に築かれた明確な専門能力」、 5つ目として「地球上の人たちに貢献したい と思う『こころ』」を掲げたいと考えています。

このような「青学らしいグローバル人材」 を育成するために、新学部が迎え入れたい と考える学生は、ひとことで言うなら「地球 上の差別、貧困、紛争、情報格差をなくした いという『志』ある学生」です。グローバルな 視点を持ち、社会的な課題に関心があり、問 題を解決する方法を学びたいという探究心 を持ち、知識だけでなく体験すること、行動 することに意欲のある学生です。

そのような志ある学生に、想いを実現する ための「知恵と力」を与えるために、カリキュ ラム内に社会科学系の4つの学問領域を配 置しています。ソシオロジー領域は社会の差 別の現状と発生メカニズムを解明するのに 最も適切な学問領域であり、ビジネス領域は 貧困克服の道を探るのに最も適した分野と 言えます。コラボレーション領域では世界各 地の紛争解決について深く考える学びが得 られます。そして、世界の問題に接近し、情報 として世界に発信するにはメディア/空間情 報領域の知識が大いに役立つと考えられま す。見過ごしてならないのは広い知識と深い 知識のバランスです。新学部は卒業生が世 界の各地域に飛び立つことを想定していま す。したがって、どんな文化圏に行っても、 どんな発展段階の国に行っても、どんな状況 にある地域に行っても、貢献できる人材とな るために、4領域の一定水準の学びを身に付 けられるカリキュラムを提供します。4領域 は垣根を越えて自由に学ぶこともできます。 留学等の体験を経て学びの目標が変わった ときでも、この「オーダーメイド・カリキュラ ム」なら柔軟に対応することができます。

新学部は「体験すること以上に効果的な 教育手段はない」との視点に立ち、積極的に 「体験」を促す授業運営を行います。世界を 視野に入れて働くことを考えるとき、2年次 後期または3年次前期に実施される留学体 験は重要な意味を持ちます。「フィールド・ス タディ」は留学時に実施される体験を伴う 学習です。1年次および2年次前期は留学に 必要な英語スコアを目指して効率的に学べ るプログラムを準備しています。

#### 新学部生の将来の進路

新学部は決して単に英語でビジネスがで きる人材を創りだそうとするものではありま せん。高層ビルのオフィスでパリッとしたスー ツに身を包み、パソコンに向かって世界を相 手に仕事をするグローバル人材も必要です が、「地の塩、世の光」の精神をこころに秘め、 シャツの袖をまくって汗を拭きながら現地の 仲間と一緒にその国の建設に一役買うことに 喜びを見いだす人材も育ってくれると思って います。キャリアのヒントはIICAや国連、国際 交流基金、新興国と取引のあるインフラ産業、 交通・運輸、旅行・観光、ジャーナリスト、都市 開発プランナー、国際的メディア産業、社会調 査士、内外NPO、NGOなどに見いだせます。

#### 教育の特色

#### ▶学部独自の充実した英語教育

ネイティブ・スピーカーの講師による「English Only」の環境で、能 力別の少人数制、学生参加型のきめ細かな授業を毎日行い、コミュニ ケーション中心の英語力を習得します(1年半でTOEFL iBT80、 IELTS6.0を目指します)。また、留学生も多く迎え、共に机を並べ専門 科目も英語で学べます。

#### ▶「体験 | を重視したセメスター(半期) 留学制度

今、世界で一番ダイナミックに変化しているアジアを中心に体験する 必須の留学制度です。体験重視の考えに基づき、留学による「気づき」を 大切にします。地域により現地に本学の教員が常駐し、校友会、現地協 力企業と共にサポート。安全安心の留学制度をつくりました。

語学力に応じて留学時期を決定し、原則3年次前期までに全員が留 学を終えるため、就職活動への影響もありません。

#### ▶卒業後の進路に合わせたカリキュラム

自分のキャリアの「芯」をつくる専門領域。社会科学の素養を持った グローバル人材となるために「コラボレーション」「ビジネス」「メディ ア/空間情報」「ソシオロジー」の4つの科目領域を設定しました。4 つの領域のひとつを専門(メジャー)とし、他の領域の科目も自由に学 べます。これにより卒業後の進路、各自の「夢」に応じたオーダーメイ ド・カリキュラムを構成できます。

#### ▶キャンパス近隣の学生寮

希望者には「寮」という異文化共生空間を準備します。留学生との交 流は将来にわたる友だちづくりの場ともなります。

#### 世界と協力し連携する

#### コラボレーション領域

環境・人権・開発・貧困・教育といっ た地球規模の問題(グローバルイ シュー)に立ち向かう先行研究を学 び、知識だけでなく行動として貢献 することの大切さを知る。

> アジアの歴史と文化 貧困と開発

紛争・難民・平和構築

国際文化関係論

人間の安全保障論

スポーツとコミュニティ

多文化共生論

#### 世界と協働し同じ価値を共創する ビジネス領域

日本と外国、互いの優れた点、不足 している点を認め合うとき、共に豊 かになる道が見いだせる。ダイナ ミックに変化するアジアから、世界

で働くことのノウハウを学ぶ。 国際経済学

共生の経済学

国際投資貿易論 NPO/NGO論

国際経営戦略論 現代アジア経済史 アジアンビジネス論

ツーリズム・マネジメント

#### 世界のことを知る・知らせる

#### メディア/空間情報領域

地球規模の視野を常に持つことを 求められるグローバル人材は、世界 のある地点の情報がどのように世界 に伝わるか、どのように世界に伝え るかを知り、これを駆使する能力を 身に付ける必要があることを学ぶ。

> ジャーナリズムの歴史 ジャーナリスト論

文化資源とメディア

メディアと思想潮流 空間情報システム入門Ⅰ・Ⅱ

空間情報デザイン基礎 空間的思考 空間の利用と立地

## 世界を分析し理解する

## ソシオロジー領域

高度にネット化した社会では第三者 の作った情報があふれているが、現 地で生の情報を求め、正しく分析し 理解することが基本であることを知

社会学入門 共生の社会学 教育の社会学 宗教の社会学 環境の社会学 社会調査論Ⅰ・Ⅱ

社会変動論 地域社会保健福祉論

※新学部に関する情報は予定です。変更になる場合もあります。

AGU NEWS | 3 2 | AGU NEWS

## 総合文化政策学部が意欲的に取り組む2つの連携事業

黒石 いずみ 総合文化政策学部教授

### [Sensing Cities]

海外の大学生との合同フィールドワークで、 都市の違い、視点の違いを体系的に理解する

本学部では、2008年から海外の大学などと共同で 「Sensing Cities」と題したワークショップに取り組ん でいます。2010年からはアメリカ・ニューヨークの パーソンズ美術大学と連携して行っており、2014年3 月に4度日となるニューヨークにおけるワークショップ を実施しました。

2013年のワークショップには本学部のゼミ学生6 名が参加。約10日間の滞在期間中、Lower East Side とBrooklynの2つの地域でフィールドワークを行い、 そこに住む人々の暮らしぶりを現地の学生とともに調

査しました。調査方法を決めて、自らの足で街を歩き、人の集まる仕組 みを追究する──。毎年ゼミで研究している渋谷・青山での地域調査 をニューヨークで展開することで、都市の違いを実感することができ ました。以前は多くの学生が"都市が持つ表情のおもしろさ"に着目し ていましたが、東日本大震災後は"どのように街のコミュニティが形成 され、維持されているのか"など、学生の視点にも変化が見られます。

今年の3月は7名が参加して、Design and Disasterというテーマ でスケッチによる都市空間調査をしました。調査結果は最終的に作品 としてまとめ、パーソンズ美術大学に展示しました。圧巻だったのは、





参加した両校の学生と教員は国際色豊かです

人の集う場所の具体例として駅を 描いたスケッチ。空間や人間の様 子、人々の流れを、現地の学生と本 学部生がそれぞれの視点で捉えた パーソンズギャラリーで、本学とパーソンズ美術ものを合体させたのですが、視点も タッチも違う絵がコラボレーション し、とても興味深い作品となりまし た。今後もこのワークショップを継 続し、将来的には交換留学制度とし て確立させたいと考えています。

## どんなフィールドでも「自分には何ができるか」を 常に意識しています

佐藤 恭平 さん 総合文化政策学部総合文化政策学科4年

以前パーソンズ美術大学の大学院生が来日して一緒にワークショッ プを行った際、彼らのレベルの高さに驚き、2013年の渡米では、自分 はどこまでできるのか挑戦したいという気持ちで臨みました。現地で は移民の問題に着目。渡米前からニューヨーク市内の人種と居住地域 について興味があり、実際に調査してみると、たとえば中国人が"チャ イナタウン"というコミュニティを形成しているように、それぞれのコ ミュニティが確立し、住み分けされていることがわかりました。新庄市 でのプロジェクトにも、1年次から参加しています。さまざまな年代の 人々と交流しながら、常に「自分にできることは何か」を意識してきたの で、社会に出てからもこの気持ちを持ってがんばりたいと思います。

#### 「山形県新庄市の活動」

農村の暮らしと地域おこしを体験し、 人を理解する心と課題発見能力を身に付ける



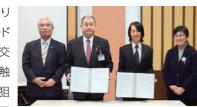
(左から)佐藤さん、黒石教授、工藤さん

国内における地域研究としては、地方の 街づくりや、地方と都市の文化的交流を探 るプロジェクトに取り組んできました。 2008年から毎年、私と学生10名ほどが新 庄市を定期的に訪問して地域の自然や歴 史・食文化に触れるとともに、近代建築遺産 である旧蚕糸試験場の保存活動への協力、 夏の新庄まつりの山車作りへの参加、地元 の中学生と一緒に市のPR活動をするワー クショップなどを行っています。地元の方々

との企画立案などの交渉も、学生にとって大きな勉強になっているは ずです。こうした活動の継続により、2014年2月8日(土)、本学部と新 庄市が今後も包括的に連携協力していく協定の締結に至りました。

このプロジェクトの目的は、都市や地方の街づくり、建築等の専門

知識を得ることだけではあり ません。海外でのフィールド ワーク同様、他者と言葉を交 わし、その土地の暮らしに触 れ、"人を理解する"ことが狙 いです。人への思いやりや配 新庄市での協定締結式



慮を身に付けることが、とても重要なのではないでしょうか。さらに、 課題発見能力を養い、それを乗り越える力を養うことで、世界に通用 する力を蓄えてほしいと思っています。





夏の新庄まつりで先頭の旗持ちを務めました



新庄まつりの若連と学生たち

## 「学生生活で何かひとつやり遂げたい!! そんな思いで臨み、全力で打ち込んでいます

工藤 麻里奈 さん 総合文化政策学部総合文化政策学科3年

父が福島県出身なので、東日本大震災の後、東北地方に対して何か できないかと考えていたときに黒石ゼミの活動を知り、同じ東北にある 新庄市の地域おこしに迷うことなく参加。2014年の海外でのフィール ドワークもなかなか体験できないことと思い、学生生活の大きな軸と捉 えて取り組みました。渡米前にはニューヨークに関する文献をたくさん 読んで準備しました。建造物や整然とした街並みは美しいけれど、青山 での調査経験と比べると、個人的には複雑な路地裏を探検する「日本の 街歩き」の方がおもしろいと感じました。これも実際に体験したからこそ 感じたこと。新庄市での活動も、何度も訪れたからこそ街が抱えている 問題に気づく客観的な視点が持てるようになったと実感しています。

## 青山学院創立140周年記念行事 一青山学院大学聖歌隊英国公演—

2014年3月3日(月)から9日(日)まで合計5回にわたり、英国のオックスフォード大学とケンブリッジ大学の カレッジ内チャペル、嘉悦ケンブリッジ教育文化センターにおいて 本学の聖歌隊(総勢29名)が公演。本学の源流の地で歌声を響かせました。

歴史と伝統ある英国の地で学生に「本物」の体験をしてほしかった。 この機会を現実のものとしてくださった多くの方々の支援に感謝します。



那須 輝彦 文学部比較芸術学科教授 青山学院大学聖歌隊指揮者

今回の英国公演の実現は、2012 年の秋、英国・オックスフォード大学の 国際政治学者であるアダム・ロバーツ 卿に本学の名誉博士号が授与された

際、本学聖歌隊が奉仕を行ったことがきっかけでした。アダム卿が大 変感動されたのを受けて、「次はオックスフォード大学で公演を行って はどうかしという案が持ち上がったのです。オックスフォード大学は、本 学の源流ともいえるメソジスト教会の創始者ジョン・ウェスレーの母 校でもあります。縁のある地で歌えることは、聖歌隊にとってもまたと ない機会。経済的負担も大きい中、メンバーの大多数である29名が 参加を表明し、公演に向けた準備を始めました。

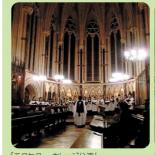
公演はオックスフォード大学とケンブリッジ大学の中でも伝統ある カレッジ内チャペル4か所と滞在先の嘉悦ケンブリッジ教育文化セン ターで開催された「JAPAN DAY」で行われました。現地の方に異文

化を感じてもらうために敢えて日本語に翻訳された楽曲でプログラ ムを構成し、会場によっては現地の聖歌隊と合同で演奏を行ったり日 本の唱歌も披露しました。海外は初めての学生も多い中、体調管理に 気を配りながら、いつも以上のチームワークで日頃の成果を発揮し、 どの公演でも等身大の歌声を響かせることができました。

会場には現地の方々をはじめ、英国在住の校友など多くの観客が 来訪され、嬉しいコメントもたくさんいただきました。アダム卿からは 「崇高かつ深淵な歌」、オックスフォード大学ウスター・カレッジ内チャ ペルの宗教主任からは「情熱と、よく訓練された統率感が伝わった」と いう感想が寄せられました。

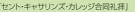
異文化交流の機会も得た学生たちは、カレッジでのフォーマルディ ナーに参加するなど、実に多くの経験をすることができました。

今回の公演は、「青山学院創立140周年記念」と冠してくださった大 学のサポートをはじめ、渡英前に行った国内の演奏会での寄付に応じ てくださった多くの方々の善意によって実現することができました。 この場を借りて厚く御礼申し上げます。











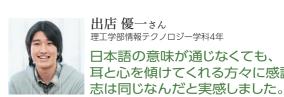
聖歌隊の等身大の歌声を英国公演の前後にウェスレー・チャペル(相模原キャンパス)で収録したCDを秋にリリース予定です。ご興味のある方は是非お聴きください



文学部史学科 2014年3月卒業

英国教会の荘厳な空間に身を置くことで 聖歌の本質を深く理解し、 身体の奥底から歌うことができました。

名誉博士号授与式で歌ったことがきっかけでイギリスに行けるなんて驚 きましたが、同時に何か運命的なものを感じました。現地のカテドラルで、 「私たちが円頃歌っている曲は、こんなにも荘厳な空間から生まれたんだ」 と、日本では味わえない空気感に興奮しました。たとえば日本で公開される 海外の名画でも、描かれた場所へ行くことで初めて感じることができる作 者の思いがあるように、普段日本のコンサート会場で歌っている教会音楽 を英国教会で歌うことで、改めてその意味を理解し、歌う意義を実感したの です。聖歌の本質を見いだし、自然と身体の奥底に入ってくるような感覚を 覚えた英国公演でした。この経験を、今後の本格的な音楽活動に生かして いきたいと思っています。支援してくださった方々に深く感謝いたします。



出店 優一さん 理工学部情報テクノロジー学科4年 日本語の意味が通じなくても、 耳と心を傾けてくれる方々に感謝。

全体をまとめる聖歌隊長としてこの公演に臨みました。イギリスで 生まれた歌を日本語によって、いかに現地の方々の心に届けるか。と ても難しく、緊張しましたが、歴史的な町並みや英国文化に触れて練 習を重ねるうちに聖歌誕生の地で歌うことの喜びを実感し、感謝の思 いを込めて精一杯歌うことができました。日本語の歌詞の意味がわか らない観客の方々が熱心に聴いてくださったのが、強く印象に残って います。著名な指揮者の指導を受ける機会も得られ、初めてお会いし たのに、自分でも気づかなかった力を引き出してくださるような感覚 はとても新鮮でした。ハードスケジュールで体調管理には苦労しまし

たが、聖歌隊として貴重かつ贅沢な経験ができました。

**1** I AGU NEWS

## 青山学院創立140周年記念 公開シンポジウム・公開講演会を開催

### 公開シンポジウム「文明論からみた日本の課題 | ――国際政治経済学部・国際研究センター主催

「文明論からみた日本の課題」をテーマとした公開シンポジウムを 開催しました。経済学者で本学国際政治経済学研究科特任教授の猪 木武徳氏、文化人類学者で文化庁長官も務めた元本学特任教授の青 木保氏、東京大学名誉教授で本学特別招聘教授でもある政治評論家 の御厨貴氏がパネリストとして登壇、ジャーナリストで朝日新聞編集 委員の隈元信一氏が司会を担当し、3時間にわたり活発な討論が繰り



御厨氏は、1993年の政 変や2009年の民主党政権 誕生から今日の自民党政治 復活までの変化を、持続と 変容という観点から位置づ けなおし、これまでの「問題

先送り」体質を打破しようとする安倍政権の特異性を指摘しました。 一方、猪木氏は、経済学者は政策の提案はできるが、それを実行す

るのは政治の責任だと断ったうえで、経済と文明という観点からみた 日本の喫緊の課題として、少子化や人口減少の問題を取り上げ、労 働力との関連で抜本的な対策の必要性を強調しました。

また青木氏は、現下の東アジアの外交的緊張関係の中でも、民間 の文化交流は拡大していると述べ、数世紀という長い展望でアジア のダイナミックな変化を捉える必要性と、持続的文化交流の持つ信 頼醸成作用を力説しました。

さらに隈元氏は、日本が混迷を脱し、課題を解決する際の報道の役 割、ことにメディアに携わるものの「自己反省」の必要性を強調しました。

話者の深い洞察に感銘を受けたり、トーク術に聞き入ったり、ユー モアに爆笑したりするなど、知的な中にも和んだ雰囲気のシンポジ ウムとなりました。なお、シンポジウムの記録は、国際政治経済学部・ 国際研究センターより公刊する予定です。

> 2014年3月1日(土)青山キャンパス17号館本多記念国際会議場にて (国際政治経済学部長 押村 高 記)



本学国際政治経済学研究科特任教授で前日銀総裁の白川方明氏 による公開講演会「経済を考える」を開催しました。白川氏は、日本経 済の成長や変動を生む諸要因を他国との比較のもとに分かりやすく 解説し、また中央銀行や金融政策の役割について紹介し、さらに日本 の経済・金融システムにおける政策課題を提示しました。

白川氏は、日銀総裁時代の経験に基づき、金融政策における大胆 さと周到さのバランスの重要性を指摘しました。また、現下の景気の 回復、拡大に向けた政府の大規模な財政出動や、消費増税を控えた 駆け込み需要などの影響を分析しつつ、持続的な成長を実現するこ との必要性を指摘しました。さらに、中央銀行の役割、そして日銀の金 融政策の目標についても、安定的な金融環境を維持していくことが 重要であると述べました。

白川氏が特に日本経済の政策課題として挙げたのが、持続可能な

成長を損ない、日本人の生活水準の維持を困難にしかねない人口減 少や高齢化です。これらの課題に対して、政府、民間の両方ともがしっ かりと取り組むことの重要性が指摘されました。そして、国民が豊かに なるというのは物価以上に賃金が上がることであるが、それは日本経 済の生産性を高めることによって潜在成長率を引き上げることによっ て初めて実感されることと述べ、この面での政策課題を提示しました。

講演後しばらく、聴衆との質疑応答が続きました。金融政策実務の 第一人者による解説や回答に導かれ

て、日本経済の仕組みに接近できた土 曜の昼下がりでした。

2014年3月8日(土)青山キャンパス17号館 本多記念国際会議場にて

(国際政治経済学部長 押村 高 記)



## 「模擬労働裁判・労働審判」実施報告——法学研究科ビジネス法務専攻主催

法学研究科ビジネス法務専攻人事労務法務プログラム主催で、「模 擬労働裁判・労働審判」を開催しました。法学研究科ビジネス法務専 攻は、夜間社会人大学院であり、理論と実務、ビジネスとリーガルの両 立を目指す、いわゆる「ビジネスロー・スクール」です。現在、修士課程・ 博士後期課程合計で、69名の大学院生が熱心に学習に取り組んでい ます。人事労務法務では、特に、労働訴訟・労働審判に対応できるため の専門的能力の育成も目指しており、大学院生の学習成果の場とし て、このような模擬裁判の場を年に1回設けています。加えて、ビジネ スロー・センターにおいて、「大学間連携プロジェクト」を推進している ことから、他大学院などの学外の方々と、使用者側と労働者側に分か れて、本番さながらの模擬裁判を行っています。2013年度は、人事労 務法務プログラムの大学院生が、「精神的不調を疑われる労働者に対 する、無断欠勤などを理由とする解雇」の事案について、九州大学大 学院社会保険労務士プログラムの大学院生の方々と、「ファースト フード店店長による時間外労働請求」の事案について、愛知会・三重 会・岐阜会社労士有志の方々と、模擬裁判を行いました。現実の裁判

に近づけるため、裁判官・審判官役には、元裁判官の白川敬裕氏(原・ 白川法律事務所弁護士)、審判員役には、安實俊亮氏(株式会社パソ ナ)、高石修氏(UIゼンセン同盟日本介護クラフトユニオン副会長)を お呼びしました。参加者からは、「実務でも即通用するような、本番さな がらの実戦的演習でした」との声があがり、有意義な場となりました。

2014年3月1日(土)青山キャンパス14号館模擬法廷にて

(法学部教授・人事労務法務プログラム主任 藤川 久昭 記)

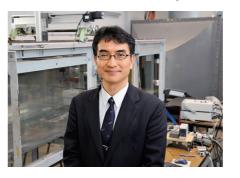








AGU Lecture 071



# ジェット推進研究室

横田 和彦

しています。

理工学部機械創造工学科教授

本研究室では、私が専門としている「宇宙 航空学」における「流体力学」、つまり、空気や 燃料の流れを研究しています。研究対象とな るロケットや飛行機本体の周囲、ジェットエン ジン内部の空気や燃料の流れの仕組みを探 ることで、より安全かつ高性能のエンジン開 発につなげます。アメリカのNASAに、無人探 査機等の研究開発や運用に携わる「ジェット 推進研究所(JPL: Jet Propulsion Laboratory)」 という組織があり、この研究室の名称の由来 となっています。

現在、所属している学部生10名、大学院生3 名は、空気を吸い込んで排出するというジェッ トエンジンの仕組みを、一般家庭にある道具 に置き換えて研究しています。台所の換気扇、 車のエアコン、掃除機、お風呂の湯を吸い上げ る洗濯機のポンプなど、そこに使われている ファンの原理は皆同じですが、性能を高めるた めの研究項目は膨大にあります。ひとつのテー マを複数人で研究すると依頼心が生まれてし まいがちですから、学生たちは各自異なるテー マを選択し、責任を持って取り組んでいます。

学生には方向性やヒント、不明点などのア ドバイスはしますが、すべて自主的に取り組 むように指導しています。実験に必要な装 置をつくるのも、すべて学生自身です。たとえ ば廃棄自動車に取り付けられていたファンを 譲ってもらって実験材料として使う場合でも、

組み立てるために土台をつくり、周囲を囲っ て、モーターをつなげ、計測の機械を取り付け て…と、必要な部品や手順を自分で考えます。 研究は苦労の連続ですが、他大学の教授が 驚くほどの設備機器が整った環境で実験を 行えるのは、研究者として幸せなこと。ここで は、コンピュータによるシミュレーションと、 実験の両方で実力を養い、将来どのような企 業、どのような部門に配属されてもエンジニ アとして活躍できる能力を育てることを目指

学生たちに求めているのは、"視点を変え て思考する"ということ。「流体力学」の授業に おいても、意外と思われるような話をよくして います。たとえば、「この机は動いているか、静 止しているか |を学生に問うと、当たり前のよ うに誰もが「静止している」と答えます。ところ が「地球は自転していますね」とひと言加えた だけで、答えが変わる。また、「1億円を高いと 思うか」という問いに対して「高い」という答 えも、「国家予算としてはどうか」と問うと反 転する。常識だと思っていることが、別の視点 から見ることで考えが180度変わる、固定概 念が覆されるのです。先入観を持つことは、 知識のあらわれですから決して悪いことでは ありません。むしろ蓄えた知識をもとに、さま ざまな視点を持って思考することで可能性を 広げることが重要で、視点を変える習慣をつ

けることで、大きく成長していくことができる

幅広い視点で思考し、今までにない新しい モノや、より良いモノを生み出していくことが、 真の「グローバル化への対応」だと考えていま す。海外に工場をつくったり、現地でコミュニ ケーションが図れるようになることだけでは なく、ここで目指すのは"未知への挑戦"。それ ができる能力を育てるための教育であり、研 究でありたいと思っています。



和田 伸浩さん 大学院 理工学研究科理工学専攻 機械創造コース1年

学部2年次に「流体力学」

が覆され、立ち止まって考える重要性を痛感し ました。4年次に横田研究室を選択したのも、先 生のもとで"自分で考える力"を身に付けたいと 思ったからです。最初は勧められた論文をひた すら読むばかりでしたが、「シロッコファン」とい う送風機に次第に興味を持ち、冷却機能を高め るための研究を始めました。当初は実験データ になかなか満足できませんでしたが、先生の評 価をうかがって捉え方が変わり、多面的な見方 を心掛けるようにしました。徐々に柔軟に思考 する習慣が身に付いてきました。現在はノート パソコンに搭載できるようなファンの小型化を 目指して奮闘中です。これからもより優れたモ ノづくりに挑戦し続けたいと考えています。

6 | AGU NEWS

## 2013年度 学生表彰

この表彰は、学生が在学中に学業および学友会活動以外の多様な分野に おいて人の範となる活躍または業績を上げ、その行為が本人および青山学 院大学の栄誉となるものについて、広く内外に顕彰することを目的としてい ます。2013年度は以下の10名が受賞しました。

受賞者一覧 ※学年は2013年度のものです。 敬称略

#### 平成25年公認会計士試験 合格

経営学部経営学科4年 中野 祐 経営学部経営学科2年 若泉 早紀

会計プロフェッション研究科会計プロフェッション専攻2年 井上 健太郎

第284回歌舞伎公演「隅田川花御所染」 国立劇場賞 奨励賞

文学部比較芸術学科2年 中村優太

Student Innovation College2013 総合1位

#### 経営学部(Triangleチーム)

経営学部経営学科3年 金泰泓

経営学部マーケティング学科3年 飯田 寛子 経営学部マーケティング学科3年 加藤 由佳

2013年度ソサイエティ大会 エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞

理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース2年 神谷 那由他

情報システム学会第9回全国大会・研究発表大会 ベストプレゼンテーション特別賞 社会情報学研究科社会情報学専攻社会情報学コース2年 吉田 智彦

FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム FIT奨励賞 2013年社会情報学会(SSI)大会 研究発表優秀賞

社会情報学研究科社会情報学専攻博士後期課程3年 上野亮

## 2013年度体育会優秀団体・選手表彰

2013年度も体育会各部は大変優秀な成績を収めました。団体競技では、 ヒマラヤの未踏峰アウトライヤー東峰に世界初登頂を果たした山岳部、春季 と秋季リーグ戦で二冠を達成した女子バレーボール部など、また個人でも 男子バスケットボール部、パワーリフティング部、陸上競技部(短距離ブロッ ク)などで多くの学生が目を見張る成果を上げています。今後も皆様の温か いご声援をよろしくお願いします。

#### 【最優秀団体】

ヒマラヤ アウトライヤー東峰 (7,035m) 世界初登頂 山岳部

バスケットボール部(男子) 第29回京王電鉄杯10大学バスケットボールフェスティバル 優勝 第62回関東大学バスケットボール選手権大会 優勝 第53回関東大学バスケットボール新人戦 準優勝

第89回関東大学バスケットボールリーグ戦 準優勝 第65回全日本大学バスケットボール選手権大会 第3位

**バレーボール部**(女子) 春季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 優勝 第32回東日本大学バレーボール選手権大会 準優勝 秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 優勝

第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 準優勝 陸上競技部(短距離ブロック) 天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会

> 女子4×400mリレー 優勝 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー 優勝 第97回日本陸上競技選手権リルー競技大会

女子4×100mリレー 第4位

#### 【最優秀選手】

本田 優城 山岳部

国際政治経済学部4年 ヒマラヤ アウトライヤー東峰 (7,035m) 世界初登頂

永吉 佑也 バスケットボール部 (男子)

総合文化政策学部4年 第3回東アジアバスケットボール選手権大会 日本代表 第62回関東大学バスケットボール選手権大会 優秀選手賞

> 第27回ユニバーシアード競技大会 日本代表 第89回関東大学バスケットボールリーグ戦 優秀選手賞

張本 天傑 バスケットボール部(男子)

国際政治経済学部4年 第62回関東大学バスケットボール選手権大会 最優秀選手賞 野本 建吾 バスケットボール部(男子)

第36回李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技大会 日本代表 総合文化政策学部3年 第27回ユニバーシアード競技大会 日本代表 第89回関東大学バスケットボールリーグ戦 優秀選手賞

第65回全日本大学バスケットボール選手権大会 優秀選手賞 第16回関東実業団・関東学生バスケットボールオールスター対抗戦 関東学生選抜

バスケットボール部(里子) 鵤 誠司

総合文化政策学部1年 第36回李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール競技大会 日本代表 第53回関東大学バスケットボール新人戦 優秀選手賞

第27回ユニバーシアード競技大会 日本代表

今村 優香 バレーボール部 (女子)

全日本女子代表モントルーバレーマスターズ2013(5位) 日本代表 文学部2年

全日本女子ユニバーシアード代表ユニバーシアード競技大会 (5位) ユニバーシアード代表

小島 満菜美 バレーボール部 (女子)

文学部1年 第17回世界ジュニア選手権大会U-20(2位)ベストリベロ賞

ユニバーシアード代表 パワーリフティング部

総合文化政策学部2年 第40回全日本学生パワーリフティング選手権大会 105kg級優勝 世界ジュニアパワーリフティング選手権 105kg級総合7位

第18回ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会 105kg級優勝 (ベンチプレスジュニアの部日本新記録更新)

陸上競技部(短距離ブロック)

教育人間科学部4年 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子400m 優勝 天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子400m 優勝 第68回国民体育大会陸上競技大会 女子400m 3位

藤森 安奈 陸上競技部(短距離ブロック

教育人間科学部1年 第92回関東学生陸上競技対校選手権大会 女子100m 優勝 天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子100m 2位

> 第68回国民体育大会陸上競技大会 女子100m 3位 レスリング部

菊池 崚 総合文化政策学部4年 全日本学生選手権大会 グレコローマン 84kg級優勝

#### 【優秀団体】

堀口 耀介

鳥原 早貴

居合道部 第46回東日本学生居合道大会(17校中) 優勝 空手道部

第56回内閣総理大臣杯日本空手協会全国空手道選手権大会(形の部) 優勝

春季関東学生定期リーグ戦 一部昇格

自動車部 パワーリフティング部

関東学生対抗軽自動車6時間耐久レース(21校中) 優勝 第95回関東学生パワーリフティング選手権大会 団体・優勝 陸上競技部(長距離ブロック) 第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会 総合第5位 秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 総合第6位

第90回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 総合第5位

【優秀選手】 石毛 隆資

理工学部2年 第45回東日本学生居合道大会新人戦 優勝

居合道部

渡邊 友太郎 硬式野球部

経営学部4年 平成25年度東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン(指名打者)

平成25年度東都大学野球秋季リーグ戦 ベストナイン(指名打者) 首位打者

椎野 弘樹

理工学部3年 平成25年度全日本学生自動車運転競技選手権大会(16名中) 第3位 忽那 実里 少林寺拳法部

第47回少林寺拳法全日本学生大会 第2位 経営学部2年

伊藤 美津穂 少林寺拳法部

第47回少林寺拳法全日本学生大会 第2位 経済学部2年

ソフトテニス部(女子) 砂原 由佑

教育人間科学部4年 第58回全日本女子選抜ソフトテニス大会 第3位

丹野 里香 馬術部

国際政治経済学部3年 第50回関東学生春季馬術大会 第2位

伊東 千寿留 バレーボール部(女子)

文学部4年 春季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 最優秀選手賞 秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 最優秀選手賞

金子 欣哉 パワーリフティング部

第95回関東学生パワーリフティング選手権大会 66kg級 1位 経済学部3年 第40回全日本学生パワーリフティング選手権大会 66kg級 2位

窪田 公輝 パワーリフティング部

第95回関東学生パワーリフティング選手権大会 83kg級 1位 文学部4年 第40回全日本学生パワーリフティング選手権大会 83kg級 1位

大橋 太郎 パワーリフティング部

経済学部1年 2013年アジアベンチプレス選手権大会 66kg級 2位

亀井 駿斗

経営学部3年 2013年全日本大学グレコローマン選手権 グレコローマン66kg級 3位

松田 健悟 レスリング部

経営学部3年 内閣総理大臣杯全日本大学選手権 フリースタイル74kg級 3位

縣 永理 ラクロス部(女子)

教育人間科学部3年 2013APLUアジアパシフィック選手権大会 21歳以下日本代表 楠木 義久

競技ダンス部

第106回東都大学学生競技ダンス選手権大会 Slow foxtrot 第1位 法学部3年

富岡 真子 競技ダンス部

総合文化政策学部3年 第106回東都大学学生競技ダンス選手権大会 Quickstep 第2位

#### 【敢關団体】

弓道部

アイススケート部(フィギュア部門) 第6回関東学生秋季フィギュアスケート交流戦 優勝

東京都学生弓道連盟リーグ戦 優勝

航空部 第53回全日本学生グライダー競技選手権大会 第6位 ソフトテニス部(女子) 第110回東都大学ソフトテニス秋季リーグ戦 優勝

馬術部 第50回東都学生馬術春季大会 第3位

第49回関東学生馬術女子競技大会(9校中3位) 第3位 バドミントン部(女子) 関東大学バドミントン春季リーグ戦(6部中2部) 優勝

ハンドボール部 関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦(7部中2部) 優勝 注己部 関東学生アーチェリー連盟リーグ戦女子2部Aブロック 優勝 競技ダンス部

第89回理工科系大学学生競技ダンス選手権大会 優勝

#### 【敢闘選手】

高橋 良治 居合道部

第46回東日本学生居合道大会 第3位 法学部4年

津田 温子 空手道部

第41回関東学生空手道選手権大会 女子形の部 第3位 経済学部3年 第57回全日本学生空手道選手権大会 女子形の部 第5位

磯崎 陽菜 剣道部

経済学部3年 第19回東京都女子学生剣道選手権大会 準優勝 黒木 零 拳法部

理工学部2年 日本拳法第6回東日本大学形選手権 二人形の部 優秀選手賞

秋吉 駿人 日本拳法第6回東日本大学形選手権 一人形の部 優秀選手賞 理工学部2年

熊谷 裕樹 経営学部4年 日本拳法第6回東日本大学形選手権 二人形の部 優秀選手賞

株田 淳平 航空部 法学部4年 第53回全日本学生グライダー競技選手権大会 第5位

大石 実咲 航空部 総合文化政策学部4年 第17回原田覚一郎杯大学対抗グライダー競技会 個人2位・女子最優秀選手賞

多胡 佑里奈 硬式 存 球部 (女子) 関東学生テニストーナメント春大会 (ダブルス)ベスト4 教育人間科学部3年

柳原 涼 硬式庭球部(女子) 文学部1年 関東学生テニストーナメント春大会 (ダブルス)ベスト4

東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン(一塁手)

山下 ちなみ 硬式庭球部(女子)

経済学部2年

法学部4年 関東大学テニス選手権大会夏大会 ベスト4 吉田 正尚 硬式野球部

社会情報学部2年 東都大学野球春季リーグ戦 ベストナイン(外野手) 佐野 力也 硬式野球部

全関東学生自動車運転競技選手権大会(11名中) 第2位 文学部2年 細山 勇騎 準硬式野球部

杉本 裕太郎

経営学部4年

経営学部3年

新堀 智之

河田 駿

畠山 俊樹

東都大学準硬式野球春季リーグ戦(2部) 最優秀投手賞 理工学部3年 砂原 由侑 ソフトテニス部(女子)

東都大学野球秋季リーグ戦 ベストナイン(外野手)

全関東学生自動車運転競技選手権大会(11名中) 第2位

教育人間科学部4年 第41回東都大学ソフトテニス選手権大会 (ダブルス)優勝

森 愛実 ソフトテニス部(女子 第41回東都大学ソフトテニス選手権大会 (ダブルス)優勝 社会情報学部2年

小林 優美 ソフトテニス部(女子)

経済学部3年 第57回東日本学生シングルス選手権大会 第3位 和田 夏実 ソフトテニス部(女子)

経営学部1年 第16回東都大学ソフトテニスシングルス選手権大会 優勝

政金 裕太 軟式野球部 総合文化政策学部3年 東都大学軟式野球連盟秋季リーグ ベストナイン(ショート)

武田 裕太 東都大学軟式野球連盟秋季リーグ 最多勝・最優秀防御率 経済学部4年

バスケットボール部(男子) 総合文化政策学部4年 第62回関東大学バスケットボール選手権大会 優秀選手賞

第16回日本学生選抜バスケットボール大会 関東代表

船生 誠也 バスケットボール部(男子) 法学部2年 第53回関東大学バスケットボール新人戦 優秀選手賞

第16回日本学生選抜バスケットボール大会 関東代表 橋木 治奈

教育人間科学部4年 第56回関東学生馬術選手権大会 ベスト4 比金 桃子 バレーボール部(女子)

文学部3年 春季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 セッター賞

松浦 圭 バレーボール部(女子) 総合文化政策学部4年 第32回東日本バレーボール大学選手権大会 スパイク賞

秋季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦 スパイク賞 古市 麻衣 バレーボール部 (女子)

国際政治経済学部4年 第32回東日本バレーボール大学選手権大会 レシーブ賞 松土 千磨 パワーリフティング部

理工学部3年 第95回関東学生パワーリフティング選手権大会 59kg級 2位 香山 良太

法学部3年 関東大学ラグビーオールスターゲーム2013 対抗戦選抜 給木 優人 陸上競技部(長距離ブロック

教育人間科学部4年 天皇賜盃第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 1500m 7位 一色 恭志 陸上競技部(長距離ブロック)

秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 1区 第6位 経営学部1年 石田 駿介 陸上競技部(長距離ブロック

国際政治経済学部4年 秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 3区 第3位

橋本 崚 陸上競技部(長距離ブロック 国際政治経済学部2年 秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会 6区 第5位

小椋 裕介 陸上競技部(長距離ブロック 社会情報学部2年 第90回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 7区 第2位

藤川 拓也 陸上競技部(長距離ブロック) 国際政治経済学部3年 第90回東京箱根間往復大学駅伝競走大会 9区 第3位

小宮山 剛与志 レスリング部 東日本学生レスリング春季新人戦 フリースタイル60kg級 第3位 経営学部1年

金子 乾太郎 レスリング部 東日本学生レスリング春季新人戦 フリースタイル120kg級 第3位 経済学部2年

東日本学生レスリング春季新人戦 グレコローマン120kg級 第3位

山原 健太 レスリング部 経済学部3年 内閣総理大臣杯全日本大学選手権 フリースタイル84kg級 第5位

澤田 翔人 レスリング部 総合文化政策学部1年 内閣総理大臣杯全日本大学選手権 フリースタイル66kg級 第7位 守部 克秀

東日本学生秋季新人戦選手権 グレコローマン84kg級 第3位 社会情報学部1年

#### 【奨励選手】

伊藤 沙耶香 少林寺拳法部

教育人間科学部1年 第47回少林寺拳法全日本学生大会 本選出場

草間 明浩 少林寺拳法部 国際政治経済学部1年 第47回少林寺拳法全日本学生大会 本選出場

※学年は2013年度のものです。

8 | AGU NEWS

## 2014年度 大学執行部、学部長·研究科長紹介



学長 仙波 憲一

■専門分野:理論経済学、マクロ経済学、ミクロ経済学

■任 期:2011年12月~2015年12月



副学長 林 注一

■専門分野:パワーエレクトロニクス ■任 期:2013年12月~2015年12月



長谷川 信

■専門分野:日本経営史

■任 期:2013年12月~2015年12月



副学長 平澤 典男

■専門分野:公共経済学

■任 期:2013年12月~2015年12月



文学部長,文学研究科長 折島 正司

■専門分野:アメリカ文学

■任 期:2014年4月~2016年3月



教育人間科学部長·教育人間科学研究科長

■専門分野:社会教育学、生涯学習論

■任 期:2013年4月~2015年3月



経済学部長·経済学研究科長

宮原 勝一

■専門分野:公共政策、応用計量経済学 期:2014年4月~2016年3月



法学部長·法学研究科長

三木 義一 ■専門分野:税法

■任 期:2014年4月~2016年3月



経営学部長·経営学研究科長

田中 正郎

■専門分野:流通マーケティング ■任 期:2013年4月~2015年3月



国際政治経済学部長·国際政治経済学研究科長

押村 高

■専門分野:政治学、国際関係論 期:2014年4月~2016年3月



総合文化政策学部長·総合文化政策学研究科長

■専門分野:マネジメント論

■任 期:2014年4月~2016年3月



理工学部長·理工学研究科長

橋本 修

■専門分野: 生体·環境電磁工学 ■任 期:2014年4月~2016年3月



社会情報学部長·社会情報学研究科長

■専門分野:情報理論、人工知能、機械学習 期:2014年4月~2016年3月



国際マネジメント研究科長

髙橋 文郎

■専門分野:企業財務論、証券投資論 ■任 期:2013年4月~2015年3月



法務研究科長 山崎 敏彦

■専門分野:民事法学

■任 期:2014年4月~2016年3月



会計プロフェッション研究科長

小倉 昇

■専門分野:管理会計、環境会計、企業評価 期:2013年4月~2015年3月



2014年3月末日に退職された専任教員(2014年3月27日理事会承認 前号未掲載分)

上原 克仁 国際政治経済学部国際経済学科助教 金子 雅明 理丁学部経営システム丁学科助教 本田 守弘 法務研究科法務専攻特任教授 三島 和宏 情報メディアセンター助教 加藤 暢恵 情報メディアセンター助手

宮田 裕光 ヒューマン・イノベーション研究センター助教 山根 信二 ヒューマン・イノベーション研究センター助教

その他の月日をもって退職された教員 清水 康司 社会情報学部社会情報学科教授

## 2014年度 保護者の方対象大学後援会事業

#### キャンパス見学会

新入生保護者の方を対象としてキャンパス見学会を実施します。 青山キャンパス…7月5日(土)午後(相模原キャンパスは5月24日(土)に実施しました)

学業説明会・就職説明会

首都圏にお住まいの3年生保護者の方を対象に5~6月の土曜日に実施します。

ペアレンツウィークエンド(地方父母懇談会)

首都圏以外にお住まいの保護者の方を対象として、大学教職員が全国の拠点都市にうかがって大学の近況を お伝えします。開催日程は表のとおりです。

ペアレンツウィークエンド	地区	開催日	開催場所	地区	開催日	開催場所
	浜 松	7月6日(日) 午後	オークラアクトシティホテル浜松	郡山	7月21日(月·祝) 午後	郡山ビューホテルアネックス
	大 阪	7月6日(日) 午後	ホテルグランヴィア大阪	福井	7月27日(日) 午前	ホテルフジタ福井
	青森	7月13日(日) 午前	青森国際ホテル	名古屋	7月27日(日) 午後	キャッスルプラザ
	広島	7月13日(日) 午前	リーガロイヤルホテル広島	福岡	8月3日(日) 午前	ホテルニューオータニ博多
	高 松	7月13日(日) 午前	JRホテルクレメント高松	仙台	8月23日(土) 午後	仙台国際ホテル
	金 沢	7月19日(土) 午前	ANAクラウンプラザホテル金沢	長 野	8月23日(土) 午後	ホテルメトロポリタン長野
	新 潟	7月19日(土) 午後	新潟グランドホテル	米 子	8月30日(土) 午前	米子全日空ホテル
	札幌	7月20日(日) 午前	ニューオータニイン札幌	水戸	8月30日(土) 午後	三の丸ホテル
	長崎	7月21日(月·祝) 午前	ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル	鹿児島	8月31日(日) 午前	城山観光ホテル



対象の方に5月上旬に郵送した専用のハガキにてお申し込みください。 問い合わせ先 庶務部庶務課 TEL: 03-3409-8568 実施詳細の最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。

## 2013年度 学位授与式(卒業式)

2014年3月25日(火)、青山学院記念館にお いて学部の学位授与式が挙行され、約4,000名 が門出を迎えました。山北宣久院長の式辞、仙 波憲一学長の告辞に引き続き、相川和宏校友会 会長から祝辞を賜りました。壇上では各学部の 総代に学位が授与され、答辞が朗読されました。

大学院の学位授与式は青山学院講堂にて挙 行され、後期課程修了生、博士学位申請者に学 位が授与されました。

同日ガウチャー記念礼拝堂では伊藤悟大学宗 教部長による卒業礼拝と卒業生を祝福するパイ プオルガンコンサートも開催されました。

## 2014年度 入学式

2014年4月1日(火)青山学院記念館におい て、学部・大学院合同の入学式が挙行されました。 今回は東京手話通訳等派遣センターの方と本学 手話部の協力のもと手話通訳を実施し、在学生に よるカレッジソングの歌唱指導もあり開設65周 年を迎える大学入学式は無事終了しました。

## 映画「レイルウェイ 運命の旅路」学内試写会開催報告

2014年4月12日(土)、青山学院創立140周 年・青山学院大学開設65周年を記念し、青山 キャンパスの本多記念国際会議場にて、映画「レ イルウェイ 運命の旅路」の試写会が行われまし た。これは、第二次世界大戦中、「死の鉄道」と呼 ばれたタイとビルマ(現ミャンマー)を結ぶ泰緬 鉄道建設に捕虜として駆り出された英国人将校 と、日本人通訳との運命の邂逅の物語です。日本 人通訳のモデルとなった故・永瀬隆氏は、1941 年に本学英語科(青山学院文学部英語科)を卒 業後、英語通訳として陸軍に入省し、1942年か らタイの鉄道建設作戦要員となりました。その

現場での体験をふまえて1964年より毎年タイ を訪問し、当時の捕虜や労働者、兵士の慰霊活 動を続け、生涯をかけて平和への活動に尽力し ました。約10年前には本学でも講演を行ってい

上映に先立ち仙波憲一学長が、芯の強さがに じみ出る当時の永瀬氏の印象を語りながら、氏 が英連邦戦没捕虜追悼礼拝で語った不戦と平和 への思いを紹介しました。

会場には、本学学生、教職員、保護者、マスコミ 関係者等多数の方が参加し、約2時間の作品を 鑑賞。憎しみから赦しに向かう心情を描いた本

> 編は、一人ひとりの心 の奥底にずしりと重く 残ったことでしょう。

上映後は、永瀬氏と 親交が深く、氏の平和 活動の功績を語り続 けてきたKSB瀬戸内 海放送の満田康弘氏、 イラン出身で女優・タ レントとして活躍中の サヘル・ローズ氏をゲ

誌「AERA」編 集長·浜田敬子 氏の進行によ るトークイベン トを開催。満田 氏からは永瀬 氏本人の映像 と共に平和活 動への強い思 いが、ローズ氏 からは自身の

ストに迎え、雑



内からはゲストにいくつかの質問が寄せられ、 「幼い頃、教科書で学んだことと、成長してから 触れる史実の内容に差を感じます。私たちは歴 史の事実にどのように向き合えば良いのでしょ うか」という学生に対して、ローズ氏は「過去の事 実を知っていく中でそれを自分のこととして受 け止め、これからどうすれば良いかを考えてほし い。そして日本人として戦争をしないと誓った日 本の国を誇りに思ってほしい」と熱く語られ、さま ざまな思いを胸に閉会となりました。

10 | AGU NEWS



## 青山学院エバーグリーン募金



#### 寄付者の思いが生きる『使途指定型募金』が誕生しました!

青山学院エバーグリーン募金には、奨学金募金、維持協力会募金の2つがありますが、新たな募金として「使途指定型募金」が誕生しました。この募金 は、青山学院の歴史と伝統を継承しながらも、その個性と特色をさらに生かしていくために、"オール青山"の精神で教育・研究活動や在校生の活動を支 援するものです。その特徴は、寄付者自らの思いを直接生かせるところにあり、ご寄付の使途を下記よりお選びいただけます。

## 教育•研究活動支援

青山学院は「人間教育の再創造」をビジョンに掲げ、キリスト教教育の促 進、教育力の向上、一貫教育の充実等に取り組んできました。ご寄付は、 教育・研究活動、教育環境の整備、課外活動の充実のために用いさせて いただきます。

## ボランティア活動支援

青山学院スクール・モットー「地の塩、世の光」の精神に立ち、在校生の ボランティア活動を支援する募金です。ご寄付は、国内外におけるボ ランティア活動支援のために充てさせていただきます。

- 활皆様方からのメッセージを募集しています。青山学院 への期待や在校生へのエールなどを右記アドレスまで お寄せください。
- ♪ご支援をお考えいただける方は、ご連絡ください。資 料をお送りいたします。

## 国際交流活動支援

米国メソジスト監督教会の祈りと援助によって誕生した青山学院にとっ て、国際交流活動は長きにわたり教育の重要な柱でした。ご寄付は、国 際交流の更なる活性化と、グローバル人材育成のために用いさせてい ただきます。

## スポーツ活動支援

体育会活動を支援するための募金です。硬式野球部、男子バスケットボー ル部、女子バレーボール部、ラグビー部、陸上競技部(長距離ブロック)の 強化指定部をはじめ、体育会各部を指定してのご寄付が可能です。

青山学院 Tバーグリーン募金 問い合わせ先

青山学院募金事業局(間島記念館2階) TEL:03-3409-6208 FAX:03-3409-3890

Mail: bokin@aoyamagakuin.jp

http://www.aoyamagakuin.jp/support/index.html

青山学院 募金

#### 寄付者ご芳名

#### 「青山サポーター募金」について

スポーツ振興資金

【個人】 荒川 良治 様/安東 公總 様/安藤 弘敏 様/井上 清貴 様/岩井 祥一 様/岩渕 茂道 様/榎本 正史 様/加藤 裕子 様/亀山 公一 様/君島 臣孝 様/小平 修 様/ 櫻井 克己 様/白井 学 様/白濱 哲郎 様/豊泉 薫 様/中村 晴夫 様/平野 勝則 様/本多 健人 様/室伏 孝一 様/山本 喜治 様 以上20名 ほか匿名7名

【団体】 有限会社フォレストアカデミー 様/青山学院校友会大学部会 様/青山学院大学準硬式野球部OB会 様 ボランティア活動支援募金

【個人】 荒川 鉄平 様/大山 和寿 様/加藤 宣明 様/桜井 信正 様/佐々木 薫子 様/白濱 哲郎 様/武田 澄広 様/豊泉 稔 様/丸山 進 様 以上9名

五十音順で掲載

青山サポーター募金は、2014年4月より青山学院エバーグリーン募金に移管されました。これまでご支援をいただきました皆様方に深く感 謝申し上げます。引き続き大学のスポーツ活動並びにボランティア活動に対してご支援をお考えいただける方は、青山学院のよきサポー ターとして上記「使途指定型募金」にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Club & Circle 22 応援団

## 大学を盛り上げる応援活動は、自らの成長にもつながっています。

青山学院大学応援団では、応援団を人間形成の基本を学ぶ場として捉え、"人を応援するに足る模範学生と なる"という志を持って日々活動しています。主な活動は、駅伝や野球部のリーグ戦など、本学の体育会が出場 する試合での応援。2012年度に大学三大駅伝のひとつである出雲駅伝で本学陸上競技部が初優勝したこと は、これまでの活動の中で一番心に残っています。

また、大学の公式行事に参加することも大事な活動のひとつです。青山祭や相模原祭、卒業式や入学式など で演舞を披露して、大学行事を盛り上げています。応援の後に、多くの方から感謝の言葉をいただけることがな

によりの喜びです。また、11月下旬には約15校の大学の応援団が一堂に会し、 各大学の応援を披露する全日本学生応援団連盟の連盟祭にも参加します。

応援団は「怖い」というイメージを持たれがちですが、団員総勢8名、和気あ いあいと活動しています。定期的に見学会を実施していますが、いつでも新入 団員を募集していますので、興味のある方はぜひ団室に足を運んでください。

(団長:経済学部経済学科4年 岩澤 聖也 記)





## AGUニューズについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニューズ」を発行し、在学生の 保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパ ス内AGUニューズ専用スタンドにて配布しています。

●AGUニューズのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。 ●AGUニューズを確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった

場合は、学生ポータルを利用し、学生本人が変更手続きをしてください。





発行元:青山学院大学 入学広報部 TEL.03-3409-8627

●2014年5月31日発行●